

名古屋アイリスロータリークラブ

RID2760 THE ROTARY CLUB OB NAGOYA IRIS

ロータリーを实践しみんな豊かな人生を

Engage Rotary Change Lives

2014-15 年度国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン

例会日:毎週水曜日 13:00~14:00

例会場:ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋

創立:2013 年 6 月 5 日

会長:荒山 久美



■ 斉唱

「それでこそロータリー」

■ 司会

島村恵三

■ 出席者報告

会員数: 33 名

出席者: 25 名

出席率: 75.75%

前々回 (第 50 回) 修正出席率は 78.78% (26/33)

■ ニコボックス報告

荒山会長

森さん、アイリスロータリークラブへようこそ。宜しく
お願い致します。鈴田さん、伊藤さん卓話を宜しくお願
い致します。

安井会長エレクト

八神直前会長にお世話になりました。

八神会員

森一眞さんをあらたにお迎えして、皆様、森さんをよろ
しく！

鈴田会員

本日卓話です。つたない話ですがよろしくお願
い致します。そして 19 日 4 2 歳の誕生日です。ようやく厄年脱
皮です。

青木会員

今日はじめてニコボックス係で前に立ちます記念日。

野田会員

はじめに、この度アイリス R.C よりお見舞いを頂きました。御礼申し上げます。7 月 1 日、荒山会長が会長にな
って初仕事になりました... とお忙しい中わざわざ入院
先までお越し下さいました。初仕事はお目出たいこと、
嬉しいことに使っていただきたかった... と恐れ多いや
ら申し訳ないやら恐縮しております。10 日ほどにの入院
でしたが大勢の方々のお世話になりました。人の和の尊
さを身に染みて感じております。今後はアイリス R.C の
もと微力ですがついて参ります。よろしくご指導下さい。

■ 会長挨拶

今回は、ロータリー・クラブの創始者であるポール・
ハリスが弁護士としてシカゴに現れたころのシカゴがど
んなところであったかからお話してみたいと思います。
インディアン言葉で「腐りタマネギ」を意味するという
シカゴは、ミシガン湖に面する「港町」として 1830 年
頃から町の体裁を持つ場所となっていました。1850 年頃
には、すでに工場がもうもうと煙を上げ、蒸気機関車の
走る町となっておりました。1860 年には、シカゴは、ヨ
ーロッパ風のビルディングが建ち並ぶ都市へと発展を遂
げております。

1868 年生まれのポール・ハリスが生を受けたのは丁度
この頃でした。この時代のシカゴは優に 10 本を超える
鉄道路線の要としてアメリカ中部の大都市としての地位
を確立するに至っておりました。しかし、この直後の
1871 年にシカゴは大きな試練に見舞われます。10 月 8
日に「シカゴの大火」が起き、シカゴ市の大半を焼き尽
くしてしまいました。この大火で多くの建物が建て直し
の憂き目にあったことで、フランク・ロイド・ライトに
代表される建築ブームがシカゴにおきました。この「シ
カゴの大火」はハリスの幼児時代の出来事に過ぎません。
それからまた時が経ち、奇蹟とも言われた復興を成し遂

げたシカゴでは、1893年には、コロンブスのアメリカ大陸発見400周年を記念して、万国博覧会が開かれました。最大のアトラクションは、2000人を超える人が乗れる、電動モーターで動く大観覧車でした。この大観覧車はパリのエッフェル塔を意識して建てられたものだそうです。

この大博覧会が終わって間もない1896年にハリスがシカゴで弁護士事務所を開業することになります。そして、約十年経った後の1905年にハリスと友人2名により世界最初の奉仕クラブ「ロータリー」が創立されました。

シカゴと言えばアル・カポネを代表とするギャングを連想する方も多いと思います。アル・カポネは1899年の生まれで、ロータリーの創始者ハリスとギャングのボスのカポネを一緒にしてはいけないのですが、二人とも1947年に、第二次世界大戦が終わって間もなく亡くなっています。

こうしてみると、「大火」から復興した躍動的な都市、シカゴが世界の大都市となるそんな頃にハリスが社会活動を始め、第一次世界大戦、ギャングの跋扈（ばっこ）した禁酒法時代、大恐慌、第二次世界大戦と続いた変化の多い時代に、着々とロータリー・クラブの礎を築いていたことがわかります。

シカゴの話ばかりでは、ということで、7月9日から日本経済新聞に連載されている「革新力 The Company 変える意思」についてふれたいと思います。多くの方が読まれているとは思いますが、まず連載第一回目の「ほかの店を見て歩くなんでしない」という小見出しがありました。「難しいことじゃあない。世の中の変化を見続けてきたということ。変化の時はやり方さえ変えればチャンスですよ」と書かれておりました。誰の言葉でしょう。セブン&アイ会長の鈴木敏文氏の言葉です。

電気冷蔵庫が普及する前、1927年にセブン-イレブンの前身であるテキサス州にあるサウスランド・アイス社はサービス向上のため、週7日間/16時間営業を始め、さらにパンや牛乳なども置くようになり、1946年にはすでに現在の名称を用いるようになっています。27年後の1973年に、日本のイトーヨーカ堂がライセンス契約を受け、日本でサービスを開始。1980年代になって米国セブン-イレブンは経営不振に陥り、1991年に経営破綻したことでイトーヨーカ堂に買収されました。このアメリカ発祥の「セブン-イレブン」の発展の歴史もまた、ロータリー・クラブの発展の歴史とシンクロしているのに驚き、

また親しみも感じます。とすれば、これが、ロータリー・クラブが創始され、着々と発展を遂げた場所と時代であったということになるかと思います。いまや、セブン-イレブンは日本をヘッドクォーターとする日本の企業で、24時間営業を世界に展開しているわけですから、これはすごい「変化」と「革新」だとなるはずですよ。

同じく日経のコラム「春秋」にコンビニの話が書かれていました。30年前には、「忙しい人が必要な物を買う」。こんなコンビニの常識が、昨年からはまった「いれたてコーヒー」の発売で大きく変わり、テーブルや椅子を配置することで、午前中はご近所の高齢者の方々のたまり場、つまり常連客の集まる場所に変貌したということですよ。

『ほかの店を見て歩くなんでしない』の見出しの向こうを張って、『ほかのロータリー・クラブを見て歩くなんでしない』という言葉が頭を過ぎった方こそが、アイリスの革新を担える人材になれる方であると期待を致します。私はここまでの人材ではありませんが、皆様方の声をどんどんアイリスの運営に取り入れ、誇れるクラブ、人の集まるクラブを目指し活動をして参りたいと願っております。

■ 卓話

1. 伊藤善子会員（要旨）

名古屋市東区にて老舗料亭「香楽」の二女として誕生の後、お母様の母校でもある金城中学、高校に進学。

（そのまま同大学に進んで大和撫子の女将修行一筋、と思いきや・・・）

中学時代のアメリカホームステイ経験、映画「ワーキングガール」の影響等々から、アメリカの大学に進学してトレーダーになることを志し、「私の人生計画書」を示してご両親を説得。無事アメリカの修道院系？女子大に入学後、女子大卒には収まらず、半年余でニューヨーク大学に編入、前途洋々・・・、

の最中に、お姉様が若くしてご病気でお亡くなりになり、一旦帰国。次期女将の運命を受け入れることとなったものの、ご両親の後押しもあって、ニューヨーク大学に戻り、進路を変えてホテル・レストラン部門でマネジメントを学び、卒業後は、ヒルトンホテルに就職。研修としてホテル業務全般をひととおり経験した後は、経営関係部門に配属され、仕事にプライベートにニューヨーク生活を満喫。アメリカでの生活が8年に及ぼうという頃、

次第に日本人離れしていく跡取娘の先行きを懸念したご両親からの帰国命令？に従って日本へ。

ご両親の日本の会社の実情を学ぶようにとの助言もあり、東京で電通に勤めたものの、男尊女卑の社風？に馴染めず2年余で退職、MC I ワールドコム（アメリカの通信会社）日本法人に転職して3年余。

ついに、名古屋に戻り、若女将として今日に至る……。

2. 鈴木正道会員（要旨）

（1）自己紹介

1972年7月19日生まれの41歳。父正友、母祥代の長男として、八事にある聖霊病院にて誕生。2002年に結婚した嫁の名は恵、以前勤めていた会社の同僚で職場結婚です。

（2）学生時代

学生時代についてお話しすると、名古屋市立宮根小学校、千種中学校を経て、14歳の時、父の転勤に伴い横浜に引っ越し、横浜市立富岡中学校、私立山手学院高校に進みました。野球、バイク、ガンダムが好きなどこにでもいる子で、昔から大して勉強をしなくてもそれなりの成績をとっていたので自分は「できる子」と思っていたところ、思いもかけず3浪。

私の高校では「現役偶然、一浪当然、二浪平然、三浪あ然」と言われる中、自分は「やればできる子、やらねばできぬ子」であることを認識しました。

1994年4月、東京国際大学 経済学部 国際経済学科入学し、留年の危機（さすがにここで留年しては勘当もの、と思い）を乗り越え、無事4年で卒業しました。

（3）トラスコ時代

1998年4月、25歳で機械工具商社トラスコ中山(株)入社し、家事一切が不得手な身で結婚までは何とか実家暮らしを、と目論んでいたものの、敢えなく、水戸営業所に配属され、同所で単身社会人生活をスタートすることになりました。

同社は、主に工場で使用される工具、設備などの卸売りで、年商約1,400億の会社です。水戸では、主に営業担当でした。当時は、法定労働時間、時間外労働などの意識も特になく、馬車馬のように働く日々でした。

しかし、その後、強制的に残業禁止となったところ、決められた時間の中で、どうするかを考えるようになり、結果、残業時間が劇的に減りました。この経験から、私は、「会社は変えられる」と思うようになりました。

2003年1月、30歳で大阪本社に転勤となり、商品本部品質保証課に配属されました。会社としても新しく立ち上げる部署で、その立ち上げの責任者として、どのようにしていったら良いのか、悩みに悩んでいたところ、上司から、「君は、「言われなくてもできるヒト、言われればできるヒト、言われてもできないヒト」のどれだ？」と問われ、「言われればできるヒト」と答えたところ、「言われなくともできるのは天才、言われればできるのは凡人、言われてもできないのは馬鹿。君は凡人なのだから、そんなに背伸びをすることは無い。今は、成功も失敗も全て、会社の財産になる」と言われ、その後は、少し肩の力も抜けて、失敗も成功も全てきちんと記録に残すようにしました。そうした中で、失敗も含め「経験が大事。経験していないことは分からないから」と思うと同時に、「同じ失敗をしない」ように気を引き締めました。

（4）現在

2007年11月、35歳のときに、(株)川瀬電気工業所に転職しました。同社は、昭和22年に祖父正一が創業した会社で、創業当初から工場案件が中心で、現在は年商約60億の会社へと発展しました。

祖父の正一は、広島旧制高校時代に、野田会員のご主人と同窓であった、ということで、今回アイリスRCで野田会員にお会いして、貴重なご縁に驚いています。入社当初は、10年を目途に社長交代の予定でしたが、2010年6月、叔父であった社長が逝去し、2013年12月、41歳で私が5代目社長に就任しました。

■ 特別行事

森一眞新入会員の入会式

■ 幹事報告

1. 7月より新入会員として森一眞様が入会されました。
2. 8月21日に名古屋北RCの研修会があります。参加できる方は宜しくお願い致します。
3. 次回、第53回7月23日（水）は、名古屋北RC田嶋好博PDCに卓話をお願い致します。